

令和7年度 (2025年度)	市駅周辺まち活性化部の取り組み実績
＜部長の方針・考え方＞ 枚方市駅周辺では、現在、枚方市駅の北口及び東側（③街区）において、昨年9月にステーションヒル枚方が開業するなど、再整備のリーディングプロジェクトとなる市街地再開発事業が着々と進められており、北口駅前広場については、引き続き、令和7年度中の完成をめざして拡張整備を進めます。 市駅の南側においては、この再整備の流れを止めることの無いよう、市議会との意見交換を行いながら、庁舎位置の確定に取り組むとともに、庁内連携の下、まちづくりの検討並びに新庁舎に必要な機能や規模などの精査を進めます。この内、②街区については、令和6年度に発足された地権者主体のまちづくり協議会への技術的な支援を行うとともに、駅前広場の再整備やみどりの大空間の形成などのまちづくりに向けて取り組みます。また、④⑤街区では、多くの人が訪れ、交流と賑わいを生み出す空間づくりや防災減災機能の向上等を図るため、土地区画整理事業によるニッペパーク岡東中央を活かした公園・広場の拡大整備などに向けた検討を進めます。 重要な地域資源である天野川については、回遊性の向上等に向けた活用などについて、関係者と連携して検討します。 ①地域資源を生かした魅力あふれる拠点づくりの推進 ②枚方市駅周辺再整備に向けた機運の醸成 ③国・府をはじめ事業者など様々な関係者との連携、協力 ④市民や議会への丁寧な情報共有	
＜部の構成＞ 市駅周辺まち活性化部	＜主な担当事務＞ （１）枚方市駅周辺の再整備に係る企画、立案、調整及び実施に関すること （２）枚方市駅周辺の再整備に係るエリアマネジメントに関すること

重点的な取り組み： 枚方市駅周辺再整備の推進(③街区に関連するもの以外)

【施策シート：18－01、18－02、19－02】

枚方市駅周辺再整備については、令和5年6月に改訂した枚方市駅周辺再整備基本計画に基づき、自然や歴史文化といった多くの地域資源の活用や広域都市圏の中心的な機能を集積する拠点の形成などによるウォーカブルなまちづくりをめざし、市議会の意見を踏まえつつ、取り組みを進めていきます。

②街区のまちづくりでは、枚方市駅前の都市の風格と魅力が感じられる景観と④街区と繋がるみどりの大空間の形成や、駅前の交通混雑の解消や歩行空間などに向け、地権者主体のまちづくり協議会への技術的支援などを行いながら、南口駅前広場の再整備などの調査等に取り組みます。

④⑤街区のまちづくりでは、庁舎位置の確定に取り組むとともに、UR 都市機構等と連携しながら、まちの魅力を高めるため、みどりの大空間や民間活力導入エリアに導入する機能、新たな道路の検討も含め、交流や賑わいのあるまちの具体化に取り組めます。また、土地区画整理事業による都市基盤を整え、老朽化した建築物の更新など、防災・減災機能の向上を図るため、地権者との合意形成を進め、環境影響評価や都市計画の手続きなど、事業化に向けて取り組みます。

①街区においては、引き続き地権者と意見交換を行うなど、まちづくりの機運の醸成を図ります。

持続的にまちの魅力を高めるためのエリアマネジメントの実現に向けては、④⑤街区に留まらず宮之阪駅周辺地域も含めた回遊性向上と賑わいの創出を図るために、重要な地域資源である天野川の活用について検討を行うなど、今後、地域主体の取り組みに繋げるための基礎づくりに取り組めます。検討にあたっては、河川管理者等の関係者と連携して進めます。

実 績	① ②街区の南口駅前広場の再整備の検討や、地権者主体のまちづくり協議会への技術的支援等により準備組合が発足。①街区におけるまちづくりの機運醸成。 ② ④⑤街区において、庁舎位置の確定に向けた比較検討や、まちづくりの具体化に向けた関係者との協議等を実施。 ③ 天野川のさらなる活用に向けた河川管理者（大阪府）との協議及び周辺の地域団体、事業者などで構成されるワークショップを開催。＜2回＞
説 明	① ②街区において、南口駅前広場の再整備について、混雑解消や安全で快適な歩行空間の形成、回遊性の向上を目指して検討を進めました。また、地権者主体のまちづくり協議会に対して技術的支援を行い、令和8年3月には準備組合が発足しました。引き続き、準備組合への技術的支援を行うとともに、駅前広場の再整備や④街区と連携したみどりの大空間の形成などに取り組みます。 ①街区においては、関係権利者の勉強会に参加し、再整備事業の進捗などの説明や意見交換を行いました。引き続き、まちづくりの機運醸成を図ります。 ② ④⑤街区において、庁舎位置の確定に向けて様々な観点から比較検討を行うとともに、まちの魅力向上を図るため、民間活力導入の可能性について事業者へのヒアリング等を行いました。令和8年度は、複数の庁舎配置の案について、合理的・客観的な比較検討を行うなど、市民や市議会のご意見を伺いながら、まちづくりの具体化に取り組みます。 ③ 天野川のさらなる活用に向けた取組として、河川管理者である大阪府とともに、周辺の地域団体、事業者などで構成されるワークショップを開催し、天野川の課題や魅力などについて意見交換を行いました。引き続き、ワークショップを開催するとともに、大阪府と連携し、国のかわまちづくり支援制度の活用も見据えて検討を進めます。

重点的な取り組み： ③街区における枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業などの推進

【施策シート：18—01】

③街区のまちづくりでは、他の街区に先駆けて権利者が主体となり、回遊性や防災機能の向上が図られるよう、北口駅前広場及び区画道路等の公共施設の整備による交通結節点機能の強化と合わせて、ホテル、商業、オフィス、集合住宅、行政などの多様な都市機能を有する複合施設の建築などを市街地再開発事業として実施しています。

本再開発事業の最終段階として実施している北口駅前広場においては、ロータリー拡大による公共交通と一般車両の分離や歩道の拡幅、連続したシェルターの設置、再開発施設とのシームレスな繋がりなど、より安全で歩きやすく、本市の玄関口にふさわしい駅前広場に向けて、令和7年度中の完成をめざしています。引き続き、再開発組合が円滑に事業を進められるよう、国、大阪府と連携して補助金の執行や技術的支援を行います。

実 績	① 北口駅前広場拡張整備工事が完成し、ロータリーの運用を開始。 ② 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業のすべての工事の完了。
-----	--

説 明	① 北口駅前広場の拡張整備が、令和8年2月末に完成し、歩道の拡幅やシェルターの設置のほか、公共交通であるバス・タクシーと一般車両の分離などにより、安全・安心な歩行空間の形成や交通動線の円滑化、公共交通の利便性向上を図りました。 ② ③街区の市街地再開発事業については、事業の最終段階として進めてきた北口駅前広場拡張整備工事の完成により、街区全体の再整備が完了しました。引き続き、再開発組合の解散に向けた支援を行います。
-----	---

重点的な取り組み：新庁舎整備に向けた検討

【施策シート：18—1】

新庁舎については、災害時において、高度な防災拠点機能を発揮するほか、対面とオンラインのそれぞれの強みを活かした利用しやすい窓口機能を有するなど、安全・安心と利便性を実感できる施設としていきます。また、市民間の交流が生まれるような開放的な空間や市民ニーズを踏まえた付帯施設などの導入、環境への配慮など、市民が親しみを持てる庁舎をめざします。

令和6年度に実施した市民アンケートや個別意見聴取、ワークショップ、並びに、先進事例の調査などを踏まえ、引き続き、ワーキングチームをはじめ庁内横断的に、新庁舎に求められる機能の具体的な検討を進め、有識者などからのご意見を伺いながら、新庁舎整備基本計画の策定に向けて取り組みます。

実 績	① 枚方市新庁舎整備の検討に関するアドバイザーから意見等を聴取。 ② 新庁舎整備に向けた検討ワーキングチーム会議の開催。
説 明	① 公共政策、防災、福祉、建築等の知識経験を有している学識経験者4名に対し、枚方市新庁舎整備の検討に関するアドバイザーを依頼し、令和7年5月～6月及び令和8年1月～2月に、新庁舎に導入する機能等に関して意見や助言をいただき、効果的な検討につなげました。 ② 新庁舎整備に向けた検討ワーキングチーム会議を計4回開催し、新庁舎に導入する機能について具体的な検討を進めました。また、会議の場に限らず、新庁舎整備に関する先進事例などの情報等について、随時、チーム員に共有することで、幅広く意見等を聴く機会を設けました。 検討にあたっては、令和6年度に実施した市民アンケートのほか、障害者、高齢者、子育て世帯などの方々に対する個別意見聴取、高校生ワークショップ、先進事例の研究などの基礎調査を踏まえるとともに、有識者から助言・意見をいただきながら進めました。引き続き、新庁舎整備基本計画の策定に向けて取り組みます。